

第13回通常総会開かれる！

平成26年5月18日(土) 奈良市中部公民館で第13回通常総会が開かれた。

八木幹事の開会の辞で始まり、出席者44名、委任状提出者79名 計123名の出席者で、会員総数149名の過半数を満たしているため、本総会は成立した旨の宣言があった。

ついで藤田会長より平成25年度について、ならやま景観整備事業、例会、自然教室の各活動とも参加者が前年度を上回り充実した活動ができたこと、また、主要な出来事を振り返って、

- * グリーングフトプロジェクトの協定締結
- * 林野庁からの交付金が本決まりになったこと
- * 奈良県との間で県有地の使用について再協定と収穫物の売上げの会運営費に充当承認
- * ナラ枯れ対策の進行
- * 第5地区の第2期整備完了と活用開始
- * ならやま活動での安全管理の徹底について説明があった。



そして今後とも「明るく、元気に、楽しく、そして無理をせず」を基本に活動を進めていきたいとの挨拶があった。

議長選出後、議案の審議に入り、各議案とも審議の結果、提案通り承認された。

総会閉会后、臨時幹事会が開かれ新会長を選任し、新幹事の分担が協議された。その結果について総会参加者に対し以下のとおり報告がされた。

会長：藤田秀憲(再任)

副会長：木村裕(再任) 森英雄(再任)

八木順一(新任)

事務局長：塩本勝也(再任)

会計担当：田矢恵造(新任)

顧問：川井秀夫(再委嘱) 阿部和生(再委嘱)

その後、新幹事6名の挨拶並びに退任幹事5名の挨拶があり、本日の総会は終了した。

(倉田 晃)

【5月・月例研修会】

5・14「生駒山・自然観察会」

生駒の知られざる秘境を探索！

近鉄生駒駅に22名の皆さんが集合されました。案内役は、生駒山系を我が庭のごとくに熟知されている、飛田太一郎さんです。

今回はいつもの観察会とは少し違い水辺(池)の植生観察も加えた、ビオトープの在り方、考えかたに付いてのテーマを持った観察会になりました。



日頃余り人が足を踏み入れない場所に残る、沼池、湿地池や、溜池など、池の違いにより植生が変わる事を知りました。或る池では「ジュンサイ」が繁茂しており、飛田さんが自ら池に入り「ジュンサイ」を採取して見せて下さいました。生駒山系の池にも繁茂している事を知り皆さん驚きです。

飛田さんから、池の周りには「マムシ」がよく居るので注意が必要と聞きましたが、正に池のそばで、マムシに遭遇し、飛田さんは気付かず上を飛び越され、二人目の人が発見、危ない所でした。

6か所の池を巡りましたが、それぞれに違いがあり、水性植物、水性昆虫、水性動物の大切な生息場所となっています。「自然の中に残る池等は、出来ればコンクリート等の人工物で整備するのではなく、ビオトープの在り方も自然の姿を大切に残す事を考えながら管理するのが望ましい。」が、飛田さんの最後にまとめのお話でした。

参加の皆さんも、新緑の雑木林の中は涼しく汗を掻く程の事も無く、気持ち良く歩く事が出来ました。普段の観察会では味わえない緊張感、発見や感動を感じられた事と思います。楽しく記憶に残る観察会になりました。

(池田 信明)